



ミナセンなかどおり通信

2022年10月25日

TEL 080-5732-3942  
 fax 024-953-2895  
 nakajiryochi@rainbow.plala.or.jp

福島県知事選挙・候補者はこう考える 県市民連合公開質問書への回答 2022.10.21

質問	内堀雅雄候補	草野よしあき候補
1. 立候補に当たっての基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県政の最重要課題である「震災と原発事故からの復興と地方創生の推進」に全力で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発汚染水・ALPS 処理水の海洋放出をとめる。</li> <li>・「国と一体」「国言いなり」の冷たい県政から、子育て、教育、医療福祉優先でいのちと暮らしを守るあたたかい県政へと転換する。</li> </ul>
2. 内堀県政のこの四年間についての評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未曾有の複合災害、相次ぐ自然災害や新型コロナウイルスなど、様々な困難に見舞われる中にあっても挑戦を続け、復興・創生に向けた確かな成果が現れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の悪政に県民の立場でモノ言う姿勢がみられない。</li> <li>・特に、海洋放出方針や原発の新たな再稼働・新增設方針は、県が民意を背に国と対峙する必要があるが、この立場に立っていない。</li> </ul>
3. 福島第一原発事故 ①政府が処理水(汚染水)を「海洋放出」決定したことへの考え。また、代替策があれば提案を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今なお海洋放出に対する様々な意見が示されている。</li> <li>・ALPS 処理水の問題は福島県だけでなく日本全体の問題であり、県民や国民の理解が極めて重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確に反対である。</li> <li>・専門家が提唱する「広域遮水壁」で、新たな汚染水の発生を抑え込み、耐久性のある頑丈なタンク設置で、長期間の陸上保管は可能。</li> <li>・その間に根本解決を検討する。</li> </ul>
②廃炉作業についての評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉に向けた取組が安全かつ着実に進められることが本県復興の大前提。</li> <li>・今後も前例のない困難な作業が続くことから、緊張感を持って取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東電の隠ぺい体質は変わらず、トラブルも続き、さらに燃料デブリの取り出し開始の再延期など廃炉作業の困難さを如実に示している。</li> <li>・東電任せでなく、国家プロジェクトと位置づけ、国が責任で取り組むべき。</li> </ul>
③住民の帰還の現状と県政としての取り組み策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今なお多くの方々が避難生活を続けられており、今後も被災者の生活再建と生業再生、帰還環境整備、新産業創出を始めとした産業振興等に注力していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地域の居住率は31.4%(県発表9/15 現在)、住民の帰還は進んでいない。</li> <li>・被災者の生活と生業が再建されてこそその復興。まずは安心して戻り生活できる環境を整備し、最後の1人まで支援する立場を堅持する。</li> </ul>
4. 県政の実態評価と推進したい政策  ①県民の生活向上、及び地場産業のために必要な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疲弊している地域経済の維持・再生を図るとともに、</li> <li>・原油価格・物価高騰の影響を受ける方々や事業者に対し、幅広く、きめ細かな支援を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税減税、最低賃金全国一律・時給1,500 円の実現、労働者の賃金を上げ、県民の暮らしをあたためることが重要。</li> <li>・農林水産業予算を抜本的に拡充し、担い手・後継者支援で持続可能な農林水産業を実現する。</li> <li>・中小企業予算も抜本的に増額し、経営支援を強化する。</li> <li>・公契約条例の制定、住宅リフォームや商店リニューアルに助成制度を作り、中小業者の仕事おこしにつなげる。</li> </ul>

質問	内堀雅雄候補	草野よしあき候補
<p>② 現在のコロナ禍対応の医療・福祉などの体制で県政として不足しているのは何か</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、感染拡大防止と確実な医療の提供に取り組むとともに、</li> <li>・それらを支える医療・福祉人材の確保に向けた切れ目のない支援等を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的知見に基づくワクチン接種と、検査で感染を封じ込める戦略が必要だが、その戦略が不十分。</li> <li>・県内の保健所は18か所あったものが9か所に半減。県として医療、保健所、公衆衛生体制の強化、感染者の詳細把握の継続も必要。</li> </ul>
<p>③ 子育て世代に必要な支援策は何か</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県独自の18歳以下医療費無料化を始め、</li> <li>・保育料の助成や各種奨学金の充実等、子育て世帯が抱える経済的負担軽減を図るためのきめ細かな支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て・教育予算を抜本的に増やすことで、学校給食費の無償化、教材費などの保護者負担を軽減する。</li> <li>・さらに県の給付型奨学金制度創設、住民合意のない高校統廃合は凍結・中止し、子どもたちの学びを保障。</li> </ul>
<p>④ 県財政の現状についての評価と改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興と福島ならではの地方創生を力強く前に進めていくために必要な予算を計上している。</li> <li>・引き続き、財政の健全性に配慮しながら取組を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民1人当たりの財政規模は全国第3位でお金がない県では決していない。</li> <li>・現在の予算の組み換えで、県民不在、大型事業優先の県政から、子育て、教育、医療福祉優先のあたたかい県政へ転換することは十分可能。</li> </ul>
<p>⑤ その他大事だとお考えの施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災、原発事故からの復興・再生、全国に誇れる健康長寿県づくり、</li> <li>・農林水産業・商工業・観光業等の振興、新産業の創出などによる産業振興等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候危機対策…石炭火発廃止、地域が主役の再エネ、省エネの推進、災害対策基本条例を制定する。</li> <li>・ジェンダー平等…人権や多様性が尊重される社会の実現に向け、選択的夫婦別姓、パートナーシップ制度をつくる。 男女の賃金格差是正など。</li> </ul>
<p>5. 県政についての「県民の声」の受け止めについて</p> <p>① 知事として「県民の声」をどのように集積しますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場主義の理念の下、県内各地に赴き、市町村長の皆さんを始め、多くの県民の皆さんのお話を直接伺い、県政に反映させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁や県内の出先機関に「ご意見箱」を設置する。</li> <li>・また県内各地で定期的に「タウンミーティング」などを開き、県民とひざを交えて懇談する機会を設ける。</li> <li>・県民の声を聞き施策に反映させる。</li> </ul>
<p>② 立候補に際して、期待されている「声」を三点、挙げてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「複合災害からの復興・創生」、台風、地震等に加え、</li> <li>●新型コロナウイルス、原油価格●物価高騰など「度重なる自然災害と困難への対応」、</li> <li>●「急激な人口減少への対応」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「汚染水・処理水の海洋放出をとめてほしい」</li> <li>●「学校給食費は無料にして、保護者負担を軽減してほしい」</li> <li>●「住民合意のない県立高校統廃合は凍結・中止してほしい」</li> </ul>